

2025 年 10 月 28 日

MIRARTHホールディングス株式会社

「SDGs QUEST みらい甲子園 Future Session 2025」開催のお知らせ ～ 持続可能な社会の実現に挑む、未来を担う若い力をサポート ～

MIRARTHホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、未来教育株式会社（本社：北海道札幌市／代表取締役：水野雅弘）が全国で企画・総合プロデュースする「SDGs QUEST みらい甲子園」にオフィシャルスポンサーとして協賛しております。

この度、2024年度の各エリア大会で最優秀賞を受賞した22チームが、大阪・関西万博のサステナドームに集い「SDGs QUEST みらい甲子園 Future Session 2025」が開催されましたので、お知らせいたします。



■ 「SDGs QUEST みらい甲子園」とは

「SDGs QUEST みらい甲子園」は、気候変動、生態系、水資源などの環境問題から、貧困、食料、格差社会、エシカル消費といった社会課題まで、高校生が主体的に探究し、チームでアクションアイデアを考え、発表・表彰する全国地域分散型開催の学びと行動で未来を創る社会変革プログラムです。新学習指導要領に記載されている“持続可能な社会の担い手”を育てるために、SDGs を起点とした社会課題解決に向けた行動を促す機会の創発を狙いとしております。

当取り組みは2019年に北海道・関西エリアでスタートし、開催エリア及び参加者の規模は年々拡大を続け、2024年度は23エリア（40都道府県）の延べ11,000名を超える高校生が参加しました。

■ 「SDGs QUEST みらい甲子園 Future Session 2025」の様子

今年は6月にオンラインで実施した「全国交流会」に続き、各地域の最優秀チームが大阪・関西万博会場内の「サステナドーム」に集結し、「SDGs QUEST みらい甲子園 Future Session 2025」を開催しました。本イベントでは「Beyond 2030」をテーマに、Agenda2030の基本理念のうち「People（人間）」「Planet

（地球）」「Prosperity（豊かさ）」の3つの視点から未来のビジョンを語り合いました。また、共感を集めたアイデアを称え、「People 賞」「Planet 賞」「Prosperity 賞」の3賞に加え、2つの企業賞を含む計5つの賞が決定しました。これらの賞を通じて、全国で育まれたアイデアやアクションが共創の輪を広げ、次代を担う高校生たちの挑戦が未来へと繋がっていきます。

■ MIRARTH 賞の表彰

アクションプランの中でも、当社のパーパス「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」や、長期ビジョン「地域社会のタカラであれ。」と親和性が高いアイデアを「MIRARTH 賞」として表彰しています。今年度は、地域資源を活用したアクションプランである、秋田県立大曲農業高等学校 31 のアクションプラン「サステナW(ブル) -2031 年、人も地域も取り残さない-」を MIRARTH 賞として表彰させていただきました。

・秋田県立大曲農業高等学校 31「サステナW(ブル) -2031 年、人も地域も取り残さない-」

地域資源である湯の花を活用したイネの病害虫対策と除草は環境負荷を軽減し、低コストで高い効果が得られる持続可能な農業モデルであり、当社の掲げる長期ビジョン「地域社会のタカラであれ。」と親和性が高く、今までにない視点で地域資源を有効活用することの斬新さを評価し、表彰いたしました。

■ 過去の MIRARTH 賞に関して

・2023 年度 沖縄県立北谷高等学校・具志川高等学校「Team サラバンジー！」

消滅危機言語である「しまくとぅば」を次世代につなぐ取り組みや、地域社会との関係性を深めることで「無縁社会」で起こる様々な社会問題解決の糸口にするアイデアが、当社の掲げる長期ビジョン「地域社会のタカラであれ。」と親和性が高く、地元文化を継承したいという想いや、地域の人と人をつなぐ取り組みに共感しました。

■ 当活動への協賛の目的

「SDGs QUEST みらい甲子園」は、当社グループの掲げる Our Purpose（存在意義）「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」の想いに通じる取り組みであり、“持続可能な社会の担い手”育成の一助に寄与できると考え、2022 年度の「SDGs QUEST みらい甲子園 首都圏大会」に協賛、2023 年度より「SDGs QUEST みらい甲子園」のオフィシャルスポンサーとして協賛しています。

当社グループでは引き続き、未来を担う若い力のサポートを通して、各地域の課題解決に寄与し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

■ MIRARTH ホールディングスグループの SDGs 達成に向けた取り組み

当社グループでは、「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」を Our Purpose（存在意義）として掲げ、住宅の供給や再生可能エネルギーの開発など、事業を通じたサステナビリティ活動に取り組むことで、社会課題の解決と SDGs の達成に貢献したいと考えております。

コア事業の不動産事業を主に担うタカラレーベンは、東京都中央区が公募した「中央区立桜川公園官民連携事業（Park-PFI 事業）」にて設置予定者に選定され、福岡県うきは市では、廃校を活用したキャンプ場「UKIHA RIVERCAMP」を開業するなど、日本全国の地域創生への取り組みを推進しております。また、再開発事業や建替事業へ積極的に参画し、神奈川県小田原市や富山県高岡市、福井県福井市などで、「まちなか居住」の増加と中心市街地への誘客を促進し、居住者や来街者の回遊の起点となるとともに、中心市街地の賑わい再生につながる開発を目指しています。

エネルギー事業につきましては、2013 年のメガソーラー事業への参入以降、年々発電規模を拡大しており、2021 年にはバイオマス発電事業、風力発電事業にも参入いたしました。エネルギー事業の中核を担う MIRARTH エナジーソリューションズでは、2024 年 2 月にカンボジア現地法人を設立し、同国内での

カンボジア産カシューナッツの加工事業とカシューナッツ殻を活用したバイオマス燃料化事業の研究にも着手するなど、事業領域を拡大しつつ地域との共生を目指す取り組みを推進しています。

また、気候変動への対応として、温室効果ガス排出量削減に向け「2030年度までに45%削減（2022年度比）、2050年度までにネットゼロ※」を中長期目標として設定いたしました。今後もグループ全社でSDGsの達成に向けた取り組みを支援・推進し、持続可能な社会の実現に向けて尽力してまいります。

※2024年3月29日発信リリース

[「温室効果ガス排出量削減における中長期目標改訂のお知らせ～2050年のカーボンニュートラル実現に向け、取り組みを推進～」](#)

■ 協賛概要

名 称 : SDGs QUEST みらい甲子園 オフィシャルスポンサー
協 賛 期 間 : 2025年4月1日～2026年3月31日
協 賛 内 容 : ①みらい甲子園受賞アクション普及啓発広報媒体「2030探究新聞」発行
②2024年度大会各エリア最優秀賞受賞チームによる「2025年度全国交流会」
③「SDGs QUEST みらい甲子園 Future Session 2025」in 大阪・関西万博
企画・総合プロデュース : 未来教育株式会社 (MIRAIE)
U R L : <https://sdgs.ac>

■ 会社概要（未来教育）

商 号 : 未来教育株式会社(英語名 MIRAIE INC.)
代 表 者 : 代表取締役 水野 雅弘/CEO Masahiro Mizuno
所 在 地 : 〒062-0053 北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1-23 BRANCH 札幌月寒C-2030
設 立 : 1988年2月
事 業 内 容 : サステナビリティ学習教材の企画・開発、ビデオコーチング/SDGs スクールファシリテーターの認定・育成、探求学習の発表・交流イベントの開催、気候変動教育の推進、サステナビリティ教育支援事業、フューチャーリテラシー教育支援、AI・デジタル学習プラットフォームの開発、運営、ESD・SDGs 映像教材制作、協働学習プロデュース
資 本 金 : 2,200万円
U R L : <https://miraikyoiku.ai/>

■ 会社概要（MIRARTH ホールディングス）

商 号 : MIRARTH ホールディングス株式会社
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング16F
設 立 : 1972年9月
事 業 内 容 : グループ会社の経営管理等
資 本 金 : 9,056百万円
U R L : <https://mirarth.co.jp>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

MIRARTH ホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション室
Mail : gr.koho@mirarth.co.jp